

やはり俺が過負荷なのは  
間違っている

ラリ助さん

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

初投稿です。 初心者ですので誤字脱字等があればガンガン指摘してください!!

これは、もし比企谷八幡が球磨川禊だったら……。

という話です。

ちなみにこの作品の世界観はめだかボックスですので、『大嘘憑き』や『却本作り』なども普通に使えます。

なお、上の2つのスキル以外にもオリジナルで追加します。

ラリ助さんのめだかボックスの知識は、2次創作のみです。

※これは小学6年が趣味ではじめたものです。読むかは自己責任でお願いします。

# 目次

設定&プロローグ

1

# 設定&プロローグ

比企谷八幡

過負荷

年齢／17歳

スキル／『大嘘憑き』『却本作り』『偽物の悪意』『???』

嫌いな事／理不尽

『大嘘憑き』

原作通り

『却本作り』

原作通り

『偽物の悪意』

他の3つのスキルと関連した恐ろしい幻を相手に見せる。

例、『大嘘憑き』で自分の存在を無かったことにされる。『却本作り』で自分の体をめつた刺しにされる。等。

高校生活を振り替えて

『裸エプロンは』『正義であり』『王道である』『裸エプロン』『というのは』『新婚生活の』『なかでも』『定番中の定番』『であり〜』

中略

『結論』

『今の時代は』『手ブラジーンズだよね!!!』

八幡 side.

やあ、僕は比企谷八幡。今、平塚先生から職員室に呼び出されているんだ☆。え？な  
んでかつて？それがぼくにも分からないんだ！何が目的なのかな??はっ！まさか僕に  
あんなことやこんなことを!?!それなら何じやなくてナニじゃないか!!!

いやん  
?????

平塚「おい比企谷、何顔を赤くしている。まさか卑猥な発想をしていたんじゃないだ

ろうな?」

八幡『やだな〜』『そんなわけ』

『ないじゃ』『ないですか〜』

平塚「本当か? まあいい。そんな事より比企谷!! なんだこれは!」

八幡『なにつて』『作文用紙じゃ』『ないですか!!』

『わからないんですか?』『その年で』『分からないのは』『まずいで』

ヒュン

平塚「次は……当ててるぞ……」ギロツ

八幡『そんな〜』『当ててるなんて』

『静ちゃんたら』『す・け・べ』『ンフフツ』

平塚「私の耳よりお前の耳のほうがおかしい気がするが……ゴホンツそれより!!」

なんだと聞いているんだこれは!!」

八幡『だから』『作文用紙だつて』

『言つてるじゃ』『無いですか!』

まったく静ちゃんは忘れんぼうなんだから!

平塚「そんなことは分かっている。私が聞いているのは内容のことだ!!」

なんだこれは!! 途中までの文と結論が繋がっていないじゃないか!!」

八幡 『いや〜』『何を』『いつてるんですか?』

『しっかり』『繋がってるじゃ』『ないですか』

『分からないんですか?』『下ネタという』『繋がりが!!』『ドヤア

平塚 「小僧、屁理屈を言うな。」

八幡 『確かに』『先生の』『年からすれば』『僕は小僧ですけ

ドゴツ

平塚 「次は当てるといったはずだ…」

ああ…… またこれだ……

八幡 「理不尽」

平塚 side.

八幡 「理不尽」





痛みがひいた。

平塚 「っはあ!!!!!! はあ…………… はあ……………」

八幡 『ん?』

『センセイドウか』

『しまシタか?』

平塚 「っ! なっ、なんでもない! 今日はずもう、下がっていいぞ。」

八幡 『ワかりまシタ』 『失礼しまシタ』

ガラガラガラ バタン

なんだったんだ……………